

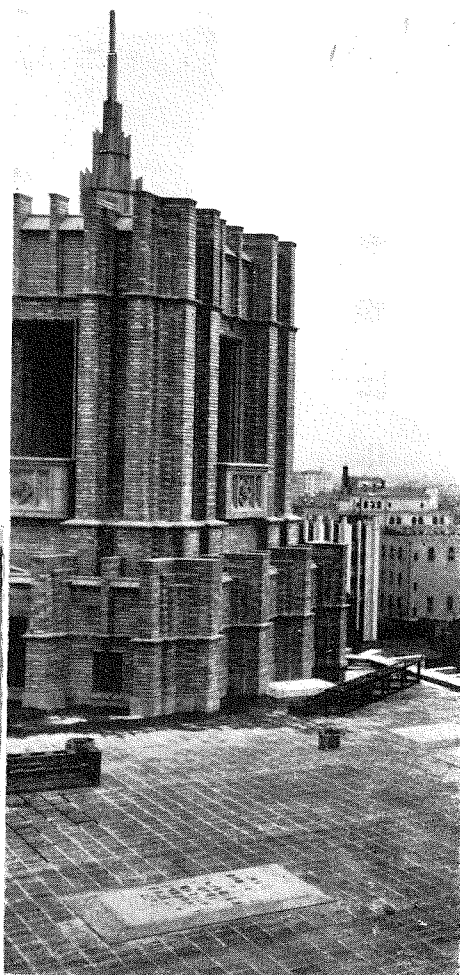
共同建物ビルディング新築工事概要



設計 佐藤功一建築設計事務所
施工 合資會社 清水組

(1) 共同建物ビルディング全景。

(2) 共同建物ビルディング
一階 ホール

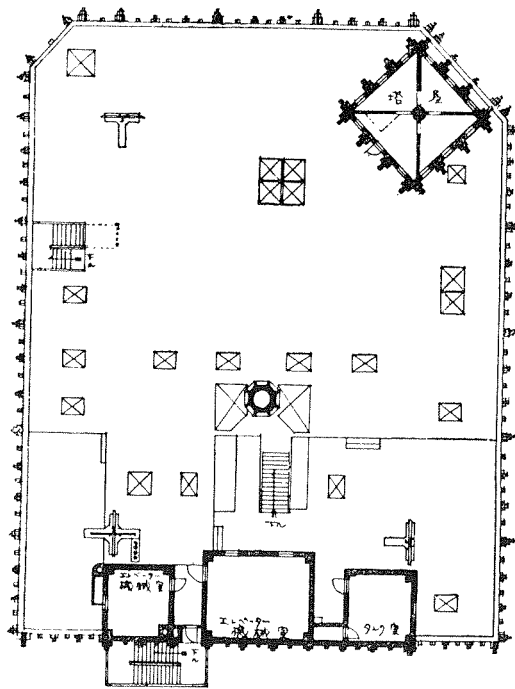




(3) 共同建物ビルディング屋上より銀座を望む。



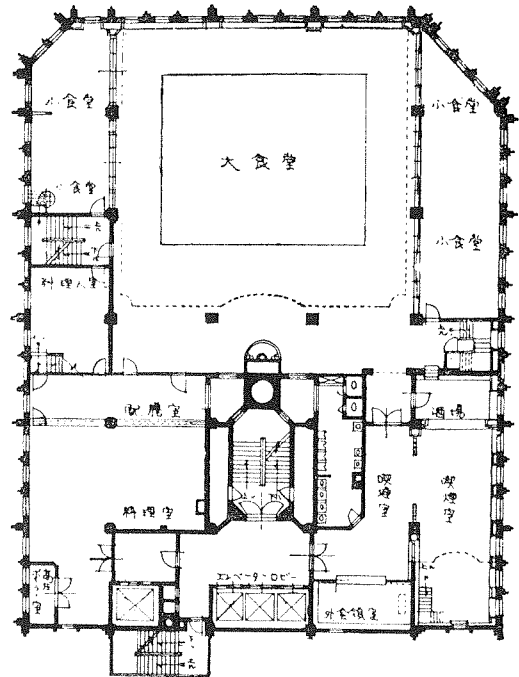
(4) 共同建物ビルディング八階大食堂。



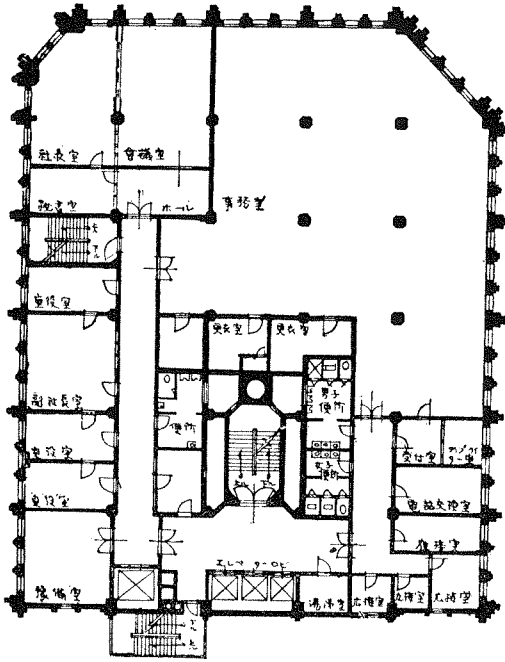
(5) 共同建物ビルディング屋上平面圖。



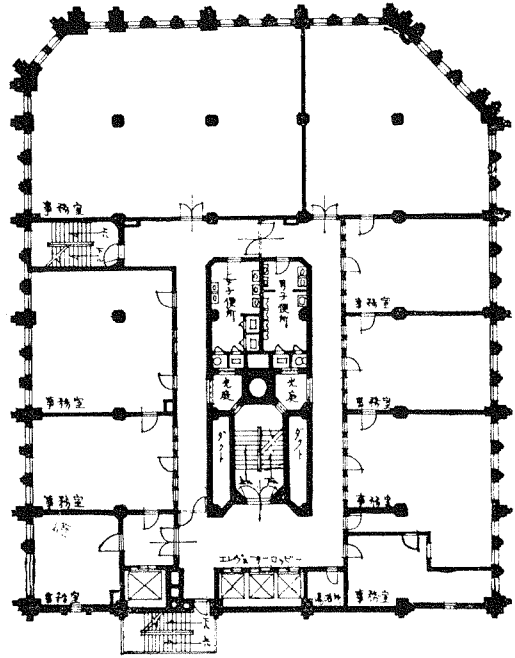
(6) 共同建物ビルディング中八階喫煙室。



(7) 共同建物ビルディング八階平面圖。



(8) 六階平面圖。



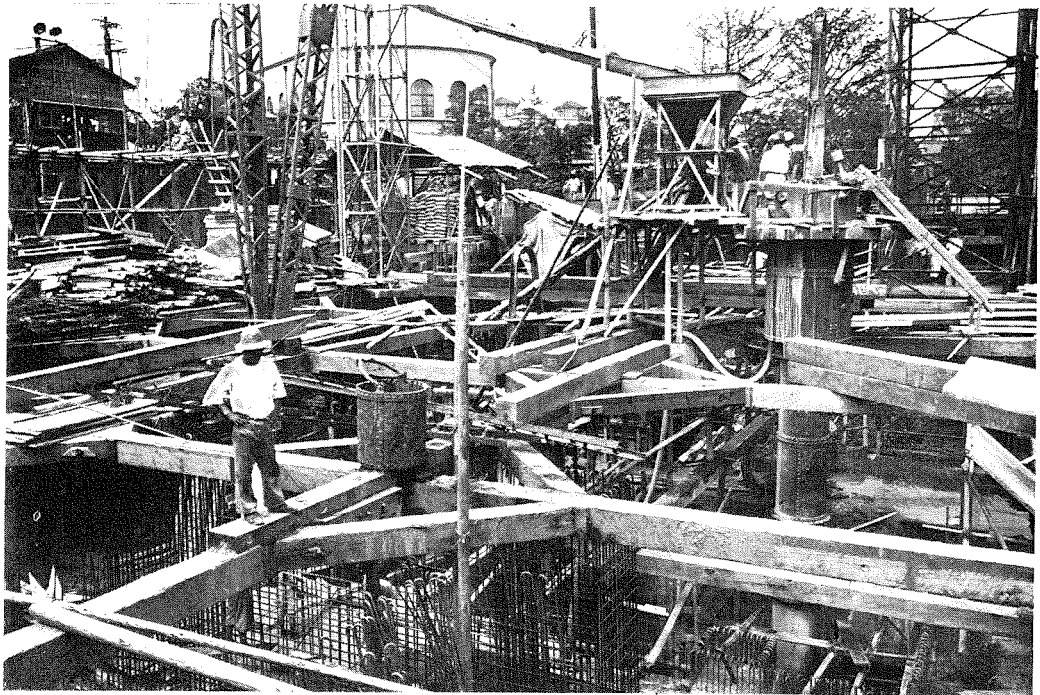
(9) 3, 4, 5階平面圖。

建築概要

位置	銀座西五丁目数寄屋橋畔
敷地	1,480平方メートル951
延坪	1,126平方メートル238
延坪	10,446平方メートル694 (地下1階 地上8階)
軒高	屋上扶壁上端31米 最高塔屋扶壁上端33.1米39
基礎	潜函基礎
構造	鉄骨鉄筋混凝土
様式	近世ゴシック式
外装	下層部は鍔御影石積、壁部はタイル貼り (柱型共) 胴蛇腹、バラベット、窓台及び線型部分はテラコッタ貼り、主要出入口段石は萬成石本磨き、各鉄扉及び飾窓金物はブロンズ又はブロンズグレースブルー仕上、陳列窓及び出入口には捲上スチールシャ

ッターを設く、屋上床はクリンカータイル及び人造石研出し塗仕上。

- 内装
- 1、壹階商店は天井ケンテツキス貼り、目地入れ、柱大理石貼り、小壁、梁ラフウォール塗、床タイル敷き、陳列台巾木鉄平石、同床はチーク材寄木張大理石ボーター付。
 - 1、玄關は天井石膏メタリコン仕上壁トラバーチン貼り、巾木鉄平石、床萬成石及び折壁石の模様敷き、其他欄間、出入口廻りの金物はブロンズ又は鉄製ブロンズグレース仕上。
 - 1、廣間はエレベーター前共天井石膏彫刻付ラフウォール塗、一部分テツキス目地入れ貼りペンキ



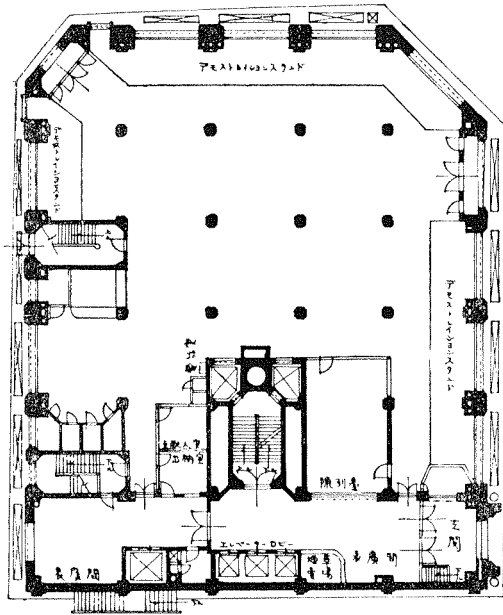
(10) 潜函工法による基礎工事状況。潜函工業株式会社施工。

塗、壁トラバーチン貼り巾木鐵平石、床目地入りテラゾー、たばこ賣場カウンターは折壁石据付

- 1、各階貸室及び事務室は天井梁壁共漆喰塗り天井パネルはトマテツキス又はケンテツキス貼り、ベンキ塗、窓台及び巾木はテラゾーブロック貼り、床縁甲板張りオイルステン仕上。
- 1、各階廣間は天井パネルテツキス貼りボーター漆喰塗、壁テラゾーブロック貼り、床眞鍮目地入りテラゾー仕上。
- 1、各階段室は天井壁共漆喰塗、腰蹴上踏面共テラゾーブロック貼り、壁側に眞鍮手摺、段鼻ノンスリップ取付け。
- 1、各階廊下は天井壁共漆喰塗、天井の中央部分はトマテツキス又

はケンテツクス貼りベンキ塗仕上巾木テラゾーブロック貼り、床眞鍮目地入りテラゾー仕上。

- 1、六階會議室、社長室は天井梁共布貼ベンキ塗石膏彫刻付、小壁ラフウォール仕上腰羽目チーク材、床各種木材寄木貼り窓台は大理石貼り。
- 1、小重役室は天井石膏ボーダー付パネル眞鍮目地入りテツキス貼りベンキ塗、壁ラフウォール塗腰羽目チーク材及びペークライト使用、床チーク縁甲板張りオイルステン仕上。
- 1、八階大食堂は天井パネル部分布貼ベンキ塗大梁コルク吹付け色付仕上、柱眞鍮クロームメツキ目地入り大理石貼り、壁布貼銀色ラッカー吹付仕上腰テラゾーブロック貼り、床テラゾー色模



(11) 1階平面圖。

様入りガラリー、周圍手摺は鐵製ブロンジングスプレー仕上、スクリーン引違ひ硝子戸は檜材銀色ペンキ磨き仕上。

- 1、食堂内噴水廻りは大理石貼り、縁石折壁石内側集成タイル貼り壁面泰山タイル貼り。
- 1、喫煙室は天井布貼りペンキ塗、壁桐ベニヤ及チークベニヤ眞鍮目地入り貼り、腰大理石貼り、手摺及びスクリーンは鐵製ブロンジングスプレー仕上、二重窓硝子及びスクリーン硝子はサンドブラスト並にカットガラス嵌め。
- 1、酒場カウンターは折壁石、クローク室はカウンター大理石、腰泰山タイルモザイク貼り仕上。
- 1、各階要所に防火壁並に防火扉を設く。

昇降機 東洋オーチスエレベーター株式會社製乗用三台、貨物用一台を設備す。

消火 各階に消火器及び火災報知機を二個所宛設け、壹階外部にサイヤミーズコンネクションを三個所設備す。

給水湯 飲料・厨房・洗面及び汽罐用として市水を供給し、雑用として鑿泉水を使用す、給湯は蒸氣加熱槽にて市水を温水となし厨房洗面所等に配給す。

換氣冷煖房 全館に亘り夏冬を通じキャリア温湿度調整装置により換氣並に冷煖房を爲し、各室はキャリアウエザーマスター毎に調整なし得る装置とし壹階、七階、八階は再循環法に依り調整をなす装置とす。

電氣 高壓にて供給を受け之を變壓して屋内に配給す、尙停電及び非常時のために蓄電池を備ふ、其他自動式電話、電氣時計、警火装置、ラヂオ装置等を設け屋上に避雷針を備ふ。

工程 起工 昭和8年5月1日、
竣工 昭和9年10月30日

工事關係者

施主 共同建物株式會社
意匠設計 工學博士 佐藤功一
構造計算 工學博士 内藤多伸
施工 合資會社 清水組
日本電飾株式會社
東洋キャリア工業株式會社
三機工業株式會社
東洋オーチスエレベーター株式會社

以上